取扱説明書

作業連絡用無線電話装置
型式　ＲＰ８３０

（目次）

1. 始めに
2. 各部の御説明
　＊フロントパネル
　＊リアーパネル
　＊上部ディップスイッチ
3. セットアップについて
4. ご使用方法について
5. 保守等について
6. 定格

株式会社スタンダード
(URL)http://standard-comm.co.jp/

１．はじめに

本システムは、技術基準適合証明を受けた無線機ですので、どなたでも免許等の資格無しに御使用頂けます。

ＲＰ８３０型は同時通話方式で通話時間制限がありません、又、２台の子機を同時に接続出来ますので、３者間でマルチに電話感覚で会話頂けます。子機は何台でもご使用になれますが、一度に本機に接続できます子機は２台迄です。その他の子機は３者間の会話を聞く事が出来ます。複数の子機を交互に接続出来ますので、様々なシステム構成が可能です。

尚、操作方法はいたって簡単ですが、御使用の前には必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しい操作方法で御使用されることを御願い申し上げます。

＊本機の１０大特徴について

１．子機２台との３者間に於いて、電話感覚で時間制限無しで会話頂けます。
２．ＤＣ１２～２４Ｖ、ＡＣ１００Ｖ(ｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用)の各電源に対応しております。
車載用として、又は事務所等の据置用として様々な業務でご使用頂けます。
３．緊急時に備えて、本機からの通話を最優先させます、一斉通報モードを設けました。
４．本機のマイクで外部拡声器がワンタッチでご使用頂けます。
５．フロントパネルには１２チャンネルの切換スイッチがありますので、簡単にチャンネル変更が可能です。又、内部ディップスイッチにより、各受信機の個別詳細設定も可能ですので、既存のシステムとの接続が容易に行えます。
６．送信時には自動的にチャンネルをロックさせますので、誤操作によるチャンネル離脱がありません。
７．ヘッドセットもご使用できますので大騒音下でのご使用も可能です。
８．一般の特定小電力無線機と違い、外部アンテナが使用できますので、より広範囲での通話が可能です。
９．フロントスピーカーですので、設置場所には困りません。
１０．本機を別の無線機に接続する事も可能です。中継機として御使用も出来ますので、ご購入販売店にご相談頂ければ幸いです。

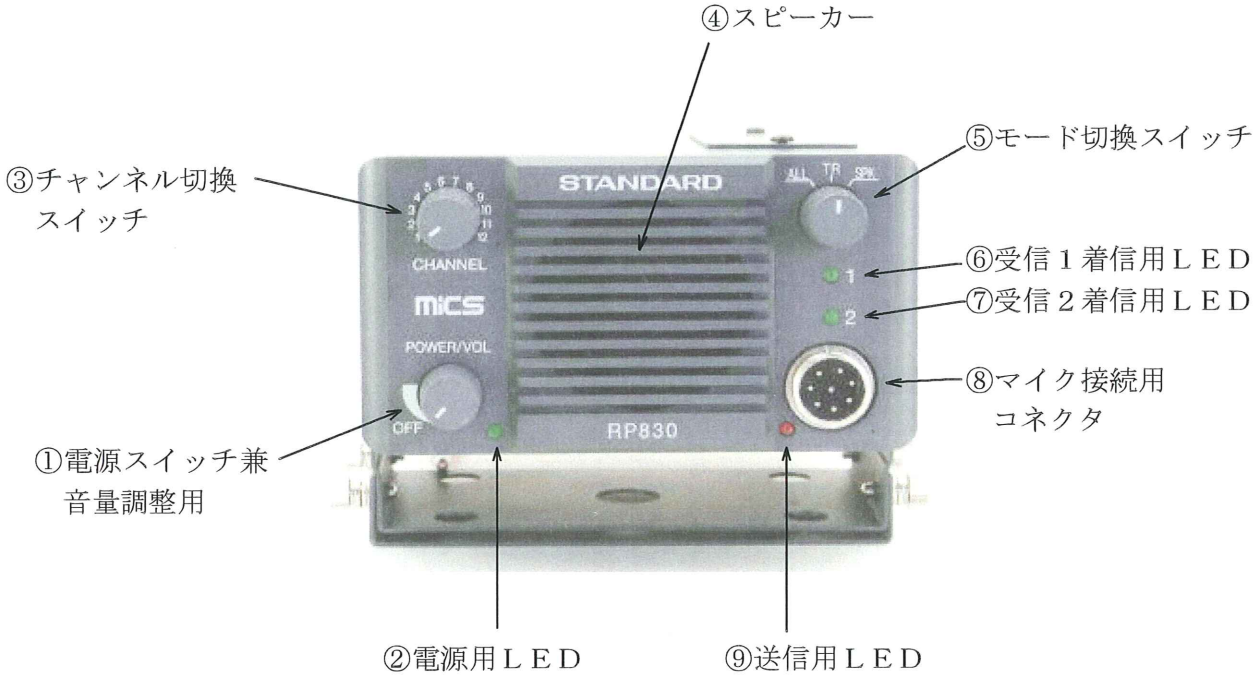
(御注意事項)

本機を分解したり改造することは電波法で禁止されています。特に、製造番号銘板、証明ラベル等を剥がしたり、内部回路の改造等を行いますと、法令により罰せられることがありますので、十分ご注意をお願い申し上げます。

修理、点検等の際には、速やかにご購入販売店にご連絡をお願い申し上げます。
又、本機は国内仕様ですから、海外ではご使用になれませんのでご注意ください。

２．各部の御説明

＊フロントパネルについて



＊フロントパネルについて

① 電源スイッチ兼音量調整用
＊時計方向に回しますと電源が入り、更に回しますと音量が大きくなります。

② 電源用ＬＥＤ
＊電源が入りますと緑色ＬＥＤが点灯します。

③ チャンネル切換スイッチ
＊任意のチャンネルでご使用下さい。設定周波数につきましては資料１でご確認をお願い申し上げます。

④ 内部スピーカー
＊２W(最大４W)　８Ω仕様です。

⑤ モード切換スイッチ
＊ＡＬＬ　・・・本機からの緊急通報の際にご利用下さい。子機間の通話を中止させ本機からの通報を最優先させます。
＊ＴＲ　・・・通常はこのモードでご使用下さい。３者間で会話出来ます。
＊ＳＰＫ　・・・本機のマイク音声だけを外部拡声器に切換ます。子機からの音声は通常通りフロントスピーカーから聞こえます。

⑥ 受信１ 着信用ＬＥＤ
＊子機１からの着信時に緑色ＬＥＤが点灯します。

⑦ 受信２ 着信用ＬＥＤ
＊子機２からの着信時に緑色ＬＥＤが点灯します。

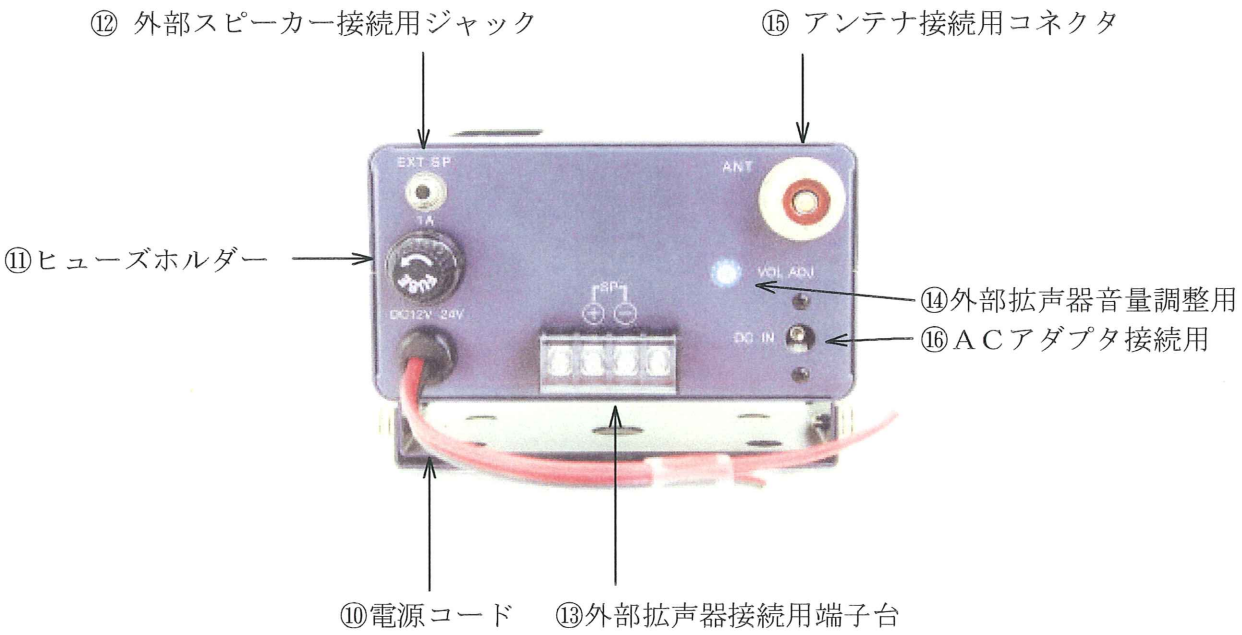
⑧ マイク接続用コネクタ
＊指定のマイクを接続して下さい。尚、本機はヘッドセットもご使用できます。
コネクタのピンアサインは次の通りです。

1;ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ切換用	2;PTT用	3;GND	4;ﾏｲｸ入力
5;+5V電源	6;SP出力	7;SP用GND	8;NC

⑨　送信用ＬＥＤ

＊本機のＰＴＴスイッチが押された場合、又は子機１、子機２から着信があった場合に赤色ＬＥＤが点灯しまして送信状態を示します。

＊リアーパネルについて



＊各詳細について

⑩ 電源コード

＊付属専用コードを接続しまして、DC12～24Vでご使用下さい。

⑪ ヒューズホルダー

＊１Ａヒューズを内蔵しています。

⑫ 外部スピーカー接続用ジャック

＊外部スピーカーを接続する際にご使用下さい。(3.5φ用)

⑬ 外部拡声器接続用端子台

＊外部拡声器を接続する際にご使用下さい。5W～10W(8Ω)タイプを推奨します。

⑭外部拡声器音量調整用

＊適切な音量でご使用下さい。

⑮ アンテナ接続用コネクタ

＊外部アンテナにつきましては、各種有りますのでご購入販売店にご相談下さい。

⑯ ＡＣアダプタ接続用

＊AC100Vでご使用の場合には専用アダプターを接続しましてご使用下さい。
尚、専用アダプターはオプション品扱いとなっております。
(センタープラス、12V1Aの仕様です。)

３．ｾｯﾄｱｯﾌﾟの確認

１．電源コード、又はＡＣアダプタを接続して下さい。
＊極性には十分ご注意下さい。

２．本体にアンテナ、マイクを接続して下さい。
＊コネクタ等の緩みにご注意下さい。
＊ＰＴＴスイッチは、まだ押さないで下さい。

３．フロントパネルのモード切換スイッチをＴＲの位置にして下さい。
＊通常はこの位置でご使用下さい。

４．相手機と周波数等の設定をして下さい。ご使用のチャンネルに相手機を合わせて於いて下さい。

５．電源スイッチを入れますと、電源用ＬＥＤが点灯します。
＊電源用ＬＥＤが点灯しない場合は、次の点をご確認下さい。
A)電源コードの極性の確認と接続の確認を再度お願いします。又、もし逆接続しまして、電源を入れられますとヒューズが切断されている場合がありますので、ヒューズホルダー内のヒューズを確認して下さい。
B)ＡＣアダプタをご使用の場合には、コンセント等の接続を確認して下さい。
C)上記Ａ，Ｂ項で問題が無い場合には本体の故障等が考えられますので、速やかにご購入販売店にご連絡をお願い申し上げます。

＊これでセットアップは完了です。

４．ご使用方法

１．セットアップに問題が無ければ直ぐにご使用頂けます。
本機から送信する場合には、マイクのＰＴＴスイッチをＯＮにして頂きますと、送信用ＬＥＤが点灯しまして送信状態になります。この時に「ピッ！ピッ！」と音が２回鳴りますので、音でも送信が確認出来ます。
ＰＴＴスイッチをＯＦＦにしますと送信が終了します。この時に「ピッ！」と音が１回鳴りますので、音でも終了が確認出来ます。

２．子機から着信がありますと、該当するＬＥＤが点灯しまして、子機からの音声がスピーカーから聞こえてきます。この時に「ピッ！」と１回音が鳴りますので、音でも子機の着信を確認出来ます。子機と会話をされる場合には、マイクのＰＴＴスイッチをＯＮの位置にして下さい。聞くだけの場合にはＰＴＴスイッチをＯＦＦにして下さい。
又、子機が送信を止めますと「ピッ!」と音が１回鳴りまして、送信の終了を音でも確認できます。

３．子機間の会話は本機を経由して行いますので、本機をご使用されない場合でも子機間の会話が必要な場合には、本機の電源は常時ＯＮにして下さい。

5．保守等について

本機は、種々の条件下にあっても安定に長期間使用出来ます、信頼性の高い無線機ですが、日々の保守は機器の運用を円滑にすると共に、故障の予防にもなりますので、安全に正しくお使い下さい。変色、変形、劣化、誤動作等を防ぐためにも、次に上げます行為には十分ご注意をお願い申し上げます。

a)不法（禁止）行為

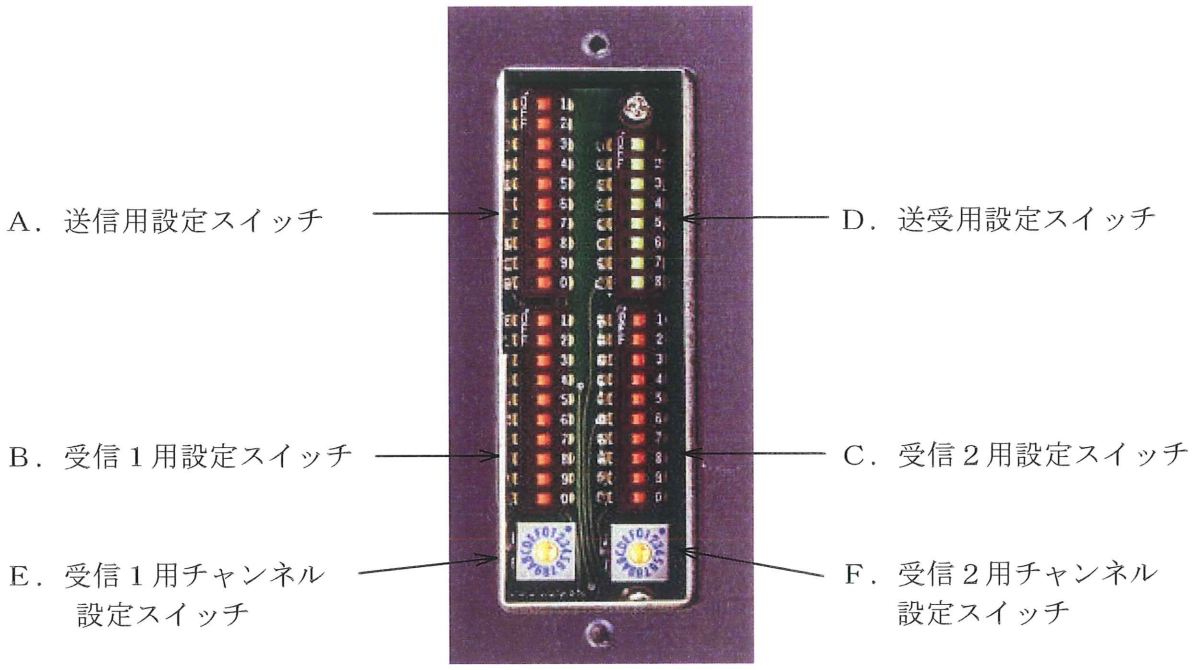
b)不当修理、調整、改造

c)御使用上の誤り（水中、衝撃、落下、加熱、ショート）

6．定格

a.電波型式	：	F3E
b.通信方法	：	複信方式　　(ﾄｰﾝｽｹﾙﾁ対応)
c.送信周波数	：	454.0500MHz～454.19375MHz　　(12.5kHz間隔ｲﾝﾀﾘｰﾌﾞ使用可能)
d.受信周波数	：	受信1 413.7000～414.14375MHz (12.5kHz間隔ｲﾝﾀﾘｰﾌﾞ使用可能)
	：	受信2 413.7000～414.14375MHz (12.5kHz間隔ｲﾝﾀﾘｰﾌﾞ使用可能)
e.周波数偏差	：	±4ppm以内　　(-10℃～+50℃)
f.電源電圧	：	DC12V～24V、AC100V(ACｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用)
g.送信出力	：	1mW以下
h.発振方法	：	水晶発振により制御する周波数ｼﾝｾｻｲｻﾞｰ方式
i.最大周波数偏移	：	±2.5kHz以下
J.受信方法	：	ﾀﾞﾌﾞﾙｽｰﾊﾟｰﾍﾃﾛﾀﾞｲﾝ方式
k.受信感度	：	-10dBμ以下　　(@12dB SINAD)
l.副次的に発する電波等の限度	：	4nW 以下
m.外形寸法	：	W155mm x H64mm x L155mm (突起物含まず)
n.重量	：	約1.6Kg　(取付ｱﾝｸﾞﾙ等含む)
o.消費電流	：	待機時　(無音時)　約200mA
	：	着信時等 (有音時)　約400～500mA
p.出荷時の設定	：	送信　　ﾄｰﾝ周波数　107.2kHz(A-1)
		受信1　ﾄｰﾝ周波数　107.2kHz(A-1)　Aﾓｰﾄﾞ
		受信2　ﾄｰﾝ周波数　107.2kHz(A-1)　Bﾓｰﾄﾞ
		各ﾓｰﾄﾞ別ﾁｬﾝﾈﾙ周波数は資料１に準じます。
		各ﾄｰﾝ周波数設定は資料２準じます。

＊本体上部のディップスイッチについて



＊各ディップスイッチの設定方法について

A．送信用設定スイッチ

ＳＷ　１・・・送信用トーン周波数設定用		１bit	資料２をご確認下さい
ＳＷ　２・・・	〃	２bit	〃
ＳＷ　３・・・	〃	３bit	〃
ＳＷ　４・・・	〃	４bit	〃
ＳＷ　５・・・	〃	５bit	〃
ＳＷ　６・・・	〃	６bit	〃

ＳＷ　７・・・周波数モード切換用（Ａ，Ｂ，Ｃ）
ＳＷ　８・・・　〃
ＳＷ　９・・・常時ＯＦＦ
ＳＷ１０・・・送信用インタリーブ使用時、ＯＮにします。

B．受信１用設定スイッチ

ＳＷ　１・・・受信１用トーン周波数設定用		１bit	資料２をご確認下さい
ＳＷ　２・・・	〃	２bit	〃
ＳＷ　３・・・	〃	３bit	〃
ＳＷ　４・・・	〃	４bit	〃
ＳＷ　５・・・	〃	５bit	〃
ＳＷ　６・・・	〃	６bit	〃

ＳＷ　７・・・周波数モード切換用（Ａ，Ｂ，Ｃ）
ＳＷ　８・・・　〃
ＳＷ　９・・・常時ＯＦＦ
ＳＷ１０・・・受信１用インタリーブ使用時、ＯＮにします。

Ｆ．受信２用チャンネル設定スイッチ

＊１～Ｃ設定・・・フロントパネルのチャンネルスイッチとは連動しません、内部設定優先になります。固定になります。

＊Ｄ～０設定・・・フロントパネルのチャンネルスイッチと連動します。

＊スイッチの設定内容

１・・・チャンネル　１固定
２・・・チャンネル　２固定
３・・・チャンネル　３固定
４・・・チャンネル　４固定
５・・・チャンネル　５固定
６・・・チャンネル　６固定
７・・・チャンネル　７固定
８・・・チャンネル　８固定
９・・・チャンネル　９固定
Ａ・・・チャンネル１０固定
Ｂ・・・チャンネル１１固定
Ｃ・・・チャンネル１２固定
Ｄ・・・フロントパネルのチャンネルスイッチと連動します。

Ｅ・・・　〃
Ｆ・・・　〃
０・・・　〃

＊上記いずれの場合でも、周波数モードＡ、Ｂ、Ｃの選択は可能です。

＊上記いずれの場合でも、インタリーブの選択は可能です。

＊各スイッチの７番，８番の周波数モード切換設定は次の通りです。

周波数モード	A	B	C
ＳＷ　7	OFF	ON	OFF
ＳＷ　8	OFF	OFF	ON

＊御注意・・・受信２は受信１より下位モードで御使用下さい。

例１、受信１がＡモードの場合にはＢかＣで御使用下さい。

例２、受信１がＢモードの場合にはＣで御使用下さい。

作業連絡用無線システムチャンネル表(ＲＰ830用)　　（資料1）

1．初期設定チャンネル

グループ（CH）			周波数(MHz) 送信周波数	子機1 受信周波数	子機2 受信周波数
1	標準	A	454.05000	413.70000	413.70000
		B	〃	413.80000	413.80000
		C	〃	413.90000	413.90000
	インターリブ	A	454.05625	413.70625	413.70625
		B	〃	413.80625	413.80625
		C	〃	413.90625	413.90625
2	標準	A	454.06250	413.71250	413.71250
		B	〃	413.81250	413.81250
		C	〃	413.96250	413.96250
	インターリブ	A	454.06875	413.71875	413.71875
		B	〃	413.81875	413.81875
		C	〃	413.96875	413.96875
3	標準	A	454.07500	413.72500	413.72500
		B	〃	413.82500	413.82500
		C	〃	413.97500	413.97500
	インターリブ	A	454.08125	413.73125	413.73125
		B	〃	413.83125	413.83125
		C	〃	413.98125	413.98125
4	標準	A	454.08750	413.73750	413.73750
		B	〃	413.83750	413.83750
		C	〃	413.98750	413.98750
	インターリブ	A	454.09375	413.74375	413.74375
		B	〃	413.84375	413.84375
		C	〃	413.99375	413.99375
5	標準	A	454.10000	413.75000	413.75000
		B	〃	413.85000	413.85000
		C	〃	414.00000	414.00000
	インターリブ	A	454.10625	413.75625	413.75625
		B	〃	413.85625	413.85625
		C	〃	414.00625	414.00625
6	標準	A	454.11250	413.76250	413.76250
		B	〃	413.86250	413.86250
		C	〃	414.01250	414.01250
	インターリブ	A	454.11875	413.76875	413.76875
		B	〃	413.86875	413.86875
		C	〃	414.01875	414.01875
7	標準	A	454.12500	413.77500	413.77500
		B	〃	413.87500	413.87500
		C	〃	414.02500	414.02500
	インターリブ	A	454.13125	413.78125	413.78125
		B	〃	413.88125	413.88125
		C	〃	414.03125	414.03125
8	標準	A	454.13750	413.78750	413.78750
		B	〃	413.88750	413.88750
		C	〃	414.08750	414.08750
	インターリブ	A	454.14375	413.79375	413.79375
		B	〃	413.89375	413.89375
		C	〃	414.09375	414.09375
9	標準	A	454.15000	413.91250	413.91250
		B	〃	414.03750	414.03750
		C	〃	414.10000	414.10000
	インターリブ	A	454.15625	413.91875	413.91875
		B	〃	414.04375	414.04375
		C	〃	414.10625	414.10625
10	標準	A	454.16250	413.92500	413.92500
		B	〃	414.05000	414.05000
		C	〃	414.11250	414.11250
	インターリブ	A	454.16875	413.93125	413.93125
		B	〃	414.05625	414.05625
		C	〃	414.11875	414.11875
11	標準	A	454.17500	413.93750	413.93750
		B	〃	414.06250	414.06250
		C	〃	414.12500	414.12500
	インターリブ	A	454.18125	413.94375	413.94375
		B	〃	414.06875	414.06875
		C	〃	414.13125	414.13125
12	標準	A	454.18750	413.95000	413.95000
		B	〃	414.07500	414.07500
		C	〃	414.13750	414.13750
	インターリブ	A	454.19375	413.95625	413.95625
		B	〃	414.08125	414.08125
		C	〃	414.14375	414.14375

トーン設定コード表　　RP830型　　(資料2)

トーングループ	周波数(Hz)	1	2	3	4	5	6
A－ 1	107.2	1	1	0	0	0	0
A－ 2	114.8	1	0	1	1	0	0
A－ 3	123.0	1	0	1	0	0	0
A－ 4	131.8	1	0	0	1	0	0
A－ 5	141.3	1	0	0	0	0	0
A－ 6	151.4	0	1	1	1	0	0
A－ 7	162.2	0	1	1	0	0	0
A－ 8	173.8	0	1	0	1	0	0
A－ 9	186.2	0	1	0	0	0	0
A－10	203.5	0	0	1	1	0	0
A－11	218.1	0	0	1	0	0	0
A－12	233.6	0	0	0	1	0	0
A－13	250.3	0	0	0	0	0	0
A－14	67.0	1	1	1	1	1	1
A－15	77.0	1	1	1	1	0	0
A－16	88.5	1	1	1	0	0	0
A－17	100.0	1	1	0	1	0	0
B－ 1	179.9	0	1	0	0	1	0
B－ 2	167.9	0	1	0	1	1	0
B－ 3	156.7	0	1	1	0	1	0
B－ 4	146.2	0	1	1	1	1	0
B－ 5	136.5	1	0	0	0	1	0
B－ 6	127.3	1	0	0	1	1	0
B－ 7	118.8	1	0	1	0	1	0
B－ 8	110.9	1	0	1	1	1	0
B－ 9	103.5	1	1	0	0	1	0
B－10	94.8	1	1	0	1	1	0
B－11	82.5	1	1	1	0	1	0
B－12	71.9	1	1	1	1	1	0
B－13	241.8	0	0	0	0	1	0
B－14	225.7	0	0	0	1	1	0
B－15	210.7	0	0	1	0	1	0
B－16	192.8	0	0	1	1	1	0

＊ディップスイッチ設定　　1：OFF　0：ON

＊各ディップスイッチの1bitから6bitに対応します。

C．受信２用設定スイッチ

ＳＷ　１・・・受信２用トーン周波数設定用		１bit	資料２をご確認下さい
ＳＷ　２・・・	〃	２bit	〃
ＳＷ　３・・・	〃	３bit	〃
ＳＷ　４・・・	〃	４bit	〃
ＳＷ　５・・・	〃	５bit	〃
ＳＷ　６・・・	〃	６bit	〃
ＳＷ　７・・・周波数モード切換用（Ａ，Ｂ，Ｃ）			
ＳＷ　８・・・	〃		
ＳＷ　９・・・常時ＯＦＦ			
ＳＷ１０・・・受信２用インタリーブ使用時、ＯＮにします。			

D．送受用設定スイッチ

	（ＯＦＦ時）	（ＯＮ時）
ＳＷ　１・・・受信１トーン解除用	トーン有効	トーン解除
ＳＷ　２・・・受信２トーン解除用	トーン有効	トーン解除
ＳＷ　３・・・常時ＯＮ		
ＳＷ　４・・・受信１電源ＯＦＦ用	電源ＯＦＦ	電源ＯＮ
ＳＷ　５・・・受信２電源ＯＦＦ用	電源ＯＦＦ	電源ＯＮ
ＳＷ　６・・・送信トーン解除用	トーン解除	トーン有効
ＳＷ　７・・・受信１トーン解除用	トーン解除	トーン有効
ＳＷ　８・・・受信２トーン解除用	トーン解除	トーン有効

＊ご注意・・・受信１トーンがご不要の場合には、SW1をON、SW7をOFFにして下さい。
受信２トーンがご不要の場合には、SW2をON、SW8をOFFにして下さい。

E．受信１用チャンネル設定スイッチ

＊１～Ｃ設定・・・フロントパネルのチャンネルスイッチとは連動しません、内部設定優先になります。固定になります。

＊Ｄ～０設定・・・フロントパネルのチャンネルスイッチと連動します。

＊スイッチの設定内容

１・・・チャンネル　１固定
２・・・チャンネル　２固定
３・・・チャンネル　３固定
４・・・チャンネル　４固定
５・・・チャンネル　５固定
６・・・チャンネル　６固定
７・・・チャンネル　７固定
８・・・チャンネル　８固定
９・・・チャンネル　９固定
Ａ・・・チャンネル１０固定
Ｂ・・・チャンネル１１固定
Ｃ・・・チャンネル１２固定
Ｄ・・・フロントパネルのチャンネルスイッチと連動します。
Ｅ・・・　〃
Ｆ・・・　〃
０・・・　〃

＊上記いずれの場合でも、周波数モードＡ、Ｂ、Ｃの選択は可能です。

＊上記いずれの場合でも、インタリーブの選択は可能です。